

# 2019年暮らし向きに関するアンケート調査結果

2019.12.13

愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】愛媛県内の家庭 889世帯 【調査時期】2019年11月中旬 【有効回答率】44.2% (393世帯)

【調査方法】愛媛県内当行支店等にてお客様に配布、無記名、郵送返却

………回答者の構成………

★年齢	18歳 0.3%	19歳 0.3%	20歳代 18.1%	30歳代 22.6%	40歳代 20.6%
	50歳代 18.3%	60歳代 13.7%	70歳以上 5.1%	無回答 1.0%	平均年齢 44.3歳
★性別	男性 48.3%	女性 51.1%	無回答 0.6%		
★年収(世帯)	平均年収 568.4万円				
★職業	経営者(自営業含む) 6.4%	会社員 64.9%	公務員 5.3%	無職 8.4%	
	その他 12.0%	無回答 3.0%			

## 1. 1年前と比べた暮らし向き

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
良くなった	1.8%	1.7%	1.9%	1.9%	1.8%	2.9%	4.1%
少し良くなった	8.3%	7.9%	7.7%	6.2%	7.7%	10.2%	7.9%
<b>良くなった合計</b>	<b>10.1%</b>	<b>9.6%</b>	<b>9.6%</b>	<b>8.1%</b>	<b>9.5%</b>	<b>13.1%</b>	<b>12.0%</b>
少し悪くなった	18.0%	17.3%	15.1%	10.5%	8.4%	4.3%	12.2%
悪くなった	9.2%	5.3%	2.9%	3.4%	3.8%	1.6%	2.8%
<b>悪くなった合計</b>	<b>27.2%</b>	<b>22.6%</b>	<b>18.0%</b>	<b>13.9%</b>	<b>12.2%</b>	<b>5.9%</b>	<b>15.0%</b>
変わらない	62.4%	67.5%	71.8%	77.8%	78.3%	80.4%	72.5%

「良くなった」+「少し良くなった」を合わせると12.0% (前回比▲1.1ポイント)。  
一方、悪くなった(「少し悪くなった」+「悪くなった」)と感じている人は15.0%と前回より9.1ポイント増加。  
良くなったと感じている人よりも悪くなったと感じている人のほうが多い。

【※記述式】「良くなった」理由・・・「給料が上がった(収入増)」、「子どもの卒業」  
「子どものへの仕送りがなくなった」  
「悪くなった」理由・・・「収入減」、「増税」、「定年」、「子どもの教育費」

## 2. 今後1年間の暮らし向き

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
良くなる	0.9%	1.9%	1.0%	0.9%	1.8%	1.3%	2.3%
少し良くなる	9.2%	7.2%	9.1%	4.9%	6.0%	8.0%	7.4%
<b>良くなる合計</b>	<b>10.1%</b>	<b>9.1%</b>	<b>10.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>7.8%</b>	<b>9.3%</b>	<b>9.7%</b>
少し悪くなる	19.9%	22.4%	12.2%	17.5%	10.0%	9.7%	18.8%
悪くなる	9.8%	4.8%	4.6%	4.1%	3.3%	1.3%	4.6%
<b>悪くなる合計</b>	<b>29.7%</b>	<b>27.2%</b>	<b>16.8%</b>	<b>21.6%</b>	<b>13.3%</b>	<b>11.0%</b>	<b>23.4%</b>
変わらない	59.0%	63.2%	72.5%	72.0%	78.1%	79.4%	66.7%

良くなる(「少し良くなる」+「良くなる」)と考えている人は9.7% (前回比+0.4ポイント)。  
悪くなる(「少し悪くなる」+「悪くなる」)と考えている人は23.4%と前回より12.4ポイント増加。

【※記述式】「良くなる」の理由・・・「子どもの卒業」、「賃金上がる予定」  
「悪くなる」の理由・・・「増税」、「子どもの教育費」、「収入減」

3. これからの1年間で重視(増や)していきたい費目(複数回答)

- ① 「貯蓄」 76.6%
- ② 「旅行」 23.7%
- ③ 「教育費」 14.8%
- ④ 「資産運用」 9.7%
- ⑤ 「交際費」 6.9%

「貯蓄」が最も多く7割以上を占めており、前回より4.2ポイントの増加。1997年の調査開始以来過去最高の割合。

「資産運用」(前回比+2.2ポイント)は前回第5位から第4位に。

4.

①現在の貯蓄額(世帯合計)

全体平均 718万6,000円

「増えた」 25.2% 「変化なし」 51.7% 「減った」 19.1%

②1年前と比べた貯蓄残高



③1年前と比べた貯蓄残高増減の理由(複数回答)

<増加理由>

- ①「節約・節約による貯蓄額の増加」 54.5%
- ②「給与収入の増加」 29.3%
- ③「その他」(定期積立等) 10.1%

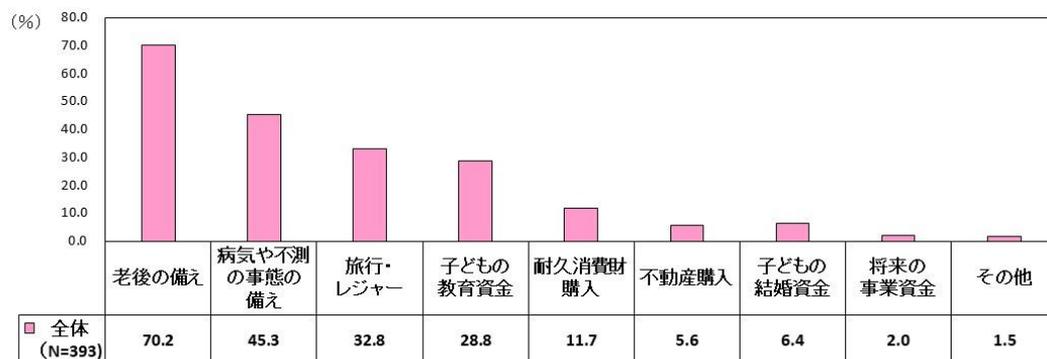
<減少理由>

- ①「臨時の出費(旅行、交際費等)」 48.0%
- ②「給与収入の減少」 30.7%
- ③「生活費(増税等)」 29.3%

貯蓄残高<増加理由>の「節約・節約による貯蓄額の増加」は前回より5.5ポイント減少、「給与収入の増加」は2.2ポイントの増加。

貯蓄残高<減少理由>の「臨時の出費」(前回比+6.5ポイント)、「給与収入の減少」(同+19.4ポイント)、「生活費」(同+8.5ポイント)はそれぞれ前回より増加。

④貯蓄の目的(複数回答)



「老後の備え」が最も多く、7割以上(前回比+7.2ポイント)。2006年の調査開始以来過去最高。

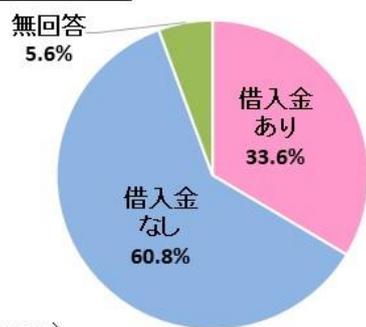
⑤貯蓄割合

毎月の手取り収入の 16.7% (前回比▲0.1ポイント) を貯蓄  
 ボーナスの 39.3% (同 ▲0.1ポイント) を貯蓄

5.

①借入金の有無

借入金の有無

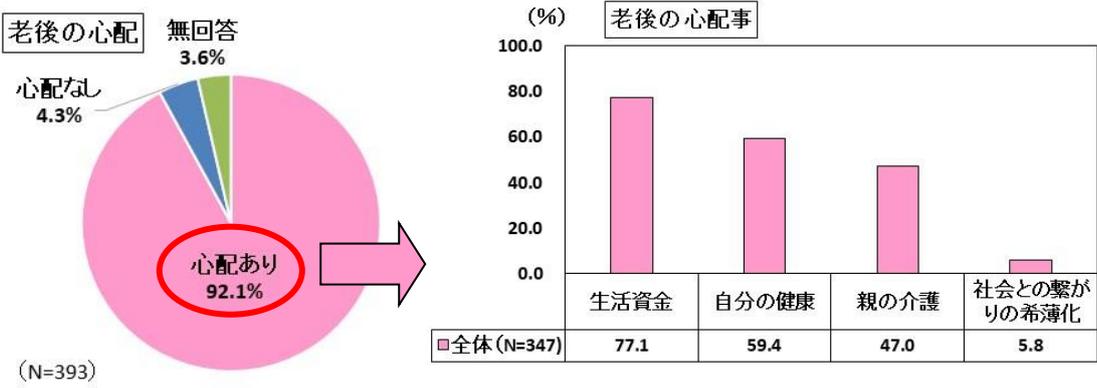


借入金がある人は33.6%(前回比▲1.8ポイント)と、1997年の調査開始以来、過去最低の割合。

②借入内容(複数回答)

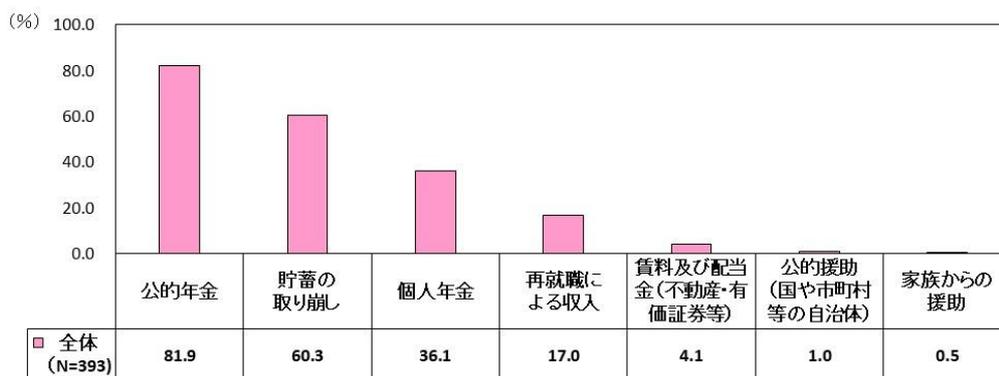
- ①「住宅取得・改築資金」 59.8%
- ②「自動車購入資金」 18.9%
- ③「その他(奨学金等)」 18.2%

6. ①老後に関する心配事（複数回答）



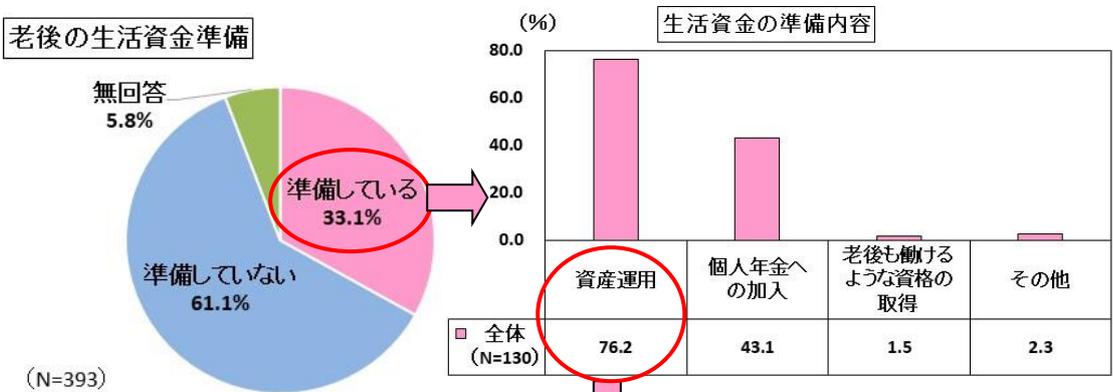
老後の心配が「ある」人は全体で9割以上。心配事の多くは「生活資金」が最多。

②老後の生活資金源（複数回答）



「再就職による収入」が前回より 5.2 ポイントの増加で、1999 年の調査開始以来過去最高の割合。

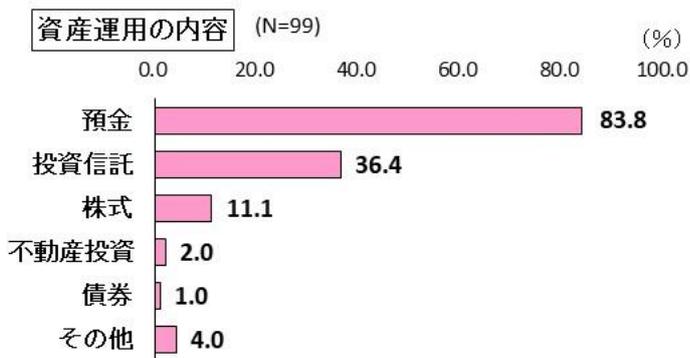
③老後の生活資金準備と内容（複数回答）



老後の生活資金準備を「している」人は全体で 33.1%と、前回より 14.9 ポイント減少。

その準備内容としては「資産運用」が最も多く、7割以上。

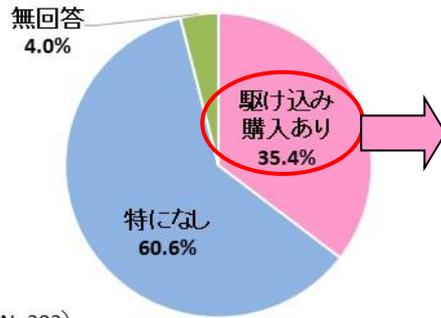
資産運用の中身は「預金」が最も多く 8割以上。



**【新設項目】**

7.  
①消費増税前に  
駆け込みで買った  
もの（複数回答）

駆け込み購入の有無



(N=393)

**【購入品目】**

①「日用品」	45.3%
②「家電製品」	32.4%
③「自動車」	15.1%
④「洋服・ファッション関連」	12.9%
⑤「美容関連」	12.2%

消費増税前に駆け込み購入した人は全体で 35.4%。2014 年増税時の調査（2014 年 6 月実施）では、駆け込み購入した人は 42.5%。

前回増税時より駆け込み購入する人が少なかったのは、増税後のポイント還元や食料品等の軽減税率の導入などが影響していると考えられる。

②増税後、節約し  
ているもの  
（複数回答）

節約の有無



(N=393)

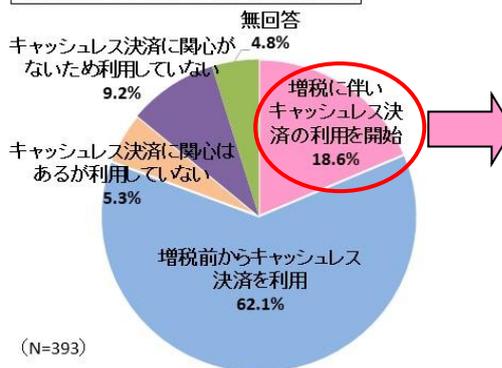
**【節約しているもの】**

①「外食費」	58.7%
②「衣服費」	38.3%
③「食料・飲料費」	26.5%
④「趣味・娯楽費」	19.4%
⑤「交際費」	18.4%
⑤「自分の小遣い」	18.4%

消費増税後、「節約をしている」人は全体 49.9%と、5 割近くを占めている。2014 年増税時の調査では、節約をしている人は 41.3%と、前回時より 8.6 ポイントの増加。

③消費増税後の  
キャッシュレス決済  
利用について

増税後のキャッシュレス決済利用状況



(N=393)

**【利用し始めた決済手段】**

①「QR コード (Pay Pay など)」	56.2%
②「クレジットカード」	49.3%
③「電子マネー (WAON など)」	35.6%
④「デビットカード」	13.7%
⑤「その他」	2.7%

④増税に伴い利用  
し始めたキャッシュ  
レス決済手段  
（複数回答）

**【まとめ】**

- ・1年前と比べた暮らし向きでは「良くなった」微減、「悪くなった」増。⇒改善があまり見られず。
- ・1年後の暮らし向きでは「良くなる」微増、「悪くなる」増。⇒慎重な見方をしている人が多い。
- ・これからの生活で重視していきたいものは「貯蓄」で7割以上。
- ・貯蓄の目的は「老後の備え」がトップで、7割以上。
- ・老後の心配が「ある」人は9割以上で、「生活資金」に関する心配が8割近く。



増税等により今後の暮らし向きについては慎重な見方をしている人が多い。老後への不安（特に生活資金）により、消費よりも貯蓄に回す傾向が依然高く、堅実な人が多い。また、貯蓄を重視しつつも、収入減や増税等により、老後の生活資金準備を思うようにできていないと感じている人も多いことがうかがえる結果となった。